



投稿規定

- 1) 原稿は術語以外は常用漢字を用い現代かなづかいに従い、横書きで書いて下さい。外国語はタイプして下さい。薬剤名については、一般名を英語で、行頭以外は小文字で書いて下さい。20字×20行あるいは400字の倍数とし、行間を適宜あけてプリントし、必ず枚数番号をつけて下さい。
- 2) 人名などは原語を用い、まぎらわしいものはかな書きを並記して下さい。
- 3) **英文題名、和文所属(所在地)、英文氏名、英文所属**を、本誌の脚注順序にそって必ずつけて下さい。「精神医学」では次の欄へのご投稿をお待ちしております。ご希望の掲載欄を明記の上、それぞれの規定を遵守してご寄稿下さい。
 - ①「**研究と報告**」、「**資料**」、「**試論**」: 論文内容を示す英語の **key words** (3~5語) をつけて下さい。原稿枚数 400字×30枚以内(図表、文献を含む)を厳守のこと。図版、表は5枚以内を目安にして下さい。300字の和文抄録と、できる限り英文抄録(300語以内)をつけて下さい。
 - ②「**ミニレビュー**」: 外国の雑誌に発表された、ご自身の論文を中心に、関連の論文のレビューをしていただく欄です。一般読者にわかりやすく書いて下さい。400字×30枚以内(図表、文献を含む)。
 - ③「**展望**」: 総説にあたるものです。該当テーマについて特性、経過、現状、今後の課題などをご紹介いただくとともに、高度な内容を先生のお考えを含めて一般臨床精神科医向けにわかりやすくおまとめ下さい。400字×40枚(図表、文献含む)を目安にし、論文内容を示す英語の **key words** (3~5語) をつけて下さい。
 - ④「**短報**」: オリジナリティのある短い1例報告、薬剤知見などです。400字×11枚以内(図表、文献を含む)を厳守のこと。また、300字の和文抄録と論文内容を示す英語の **key words** (3~5語) をつけて下さい。
 - ⑤「**私のカルテから**」: 日常臨床で遭遇した心に残った症例をおまとめいただくものです。オリジナリティは問いません。400字×8枚以内(図表、文献含む)を厳守のこと。論文内容を示す英語の **key words** (3~5語) をつけて下さい。
 - ⑥「**紹介**」: 国内外のトピックスなどをご紹介いただくものです。オリジナリティは問いません。400字×30枚以内(図表、文献含む)を厳守のこと。また、論文内容を示す英語の **key words** (3~5語) をつけて下さい。
 - ⑦「**動き**」: 学会印象記などです。400字×3.2枚以内、あるいは7.5枚以内。
 - ⑧「**精神医学への手紙(Letter to Editor)**」: 掲載論文に対する読者の方々の質問、意見、日常臨床における経験で、論文にまとめるには至らないものの報告しておきたいと考えられる知見、意見などです。400字×2枚以内。
- 注1) 図表1枚は400字に換算されます。
 - 2) ご希望があれば「短報」欄でも英文抄録(300語以内)を掲載いたします。なお、英文抄録は投稿規定枚数に含みません。
 - 3) カラー印刷ご希望の場合は有料となります。
- 4) 論文執筆に当たっては、症例の匿名性、倫理的側面に十分配慮して下さい。症例報告については原則として患者の同意を得、その旨を明記して下さい。薬剤使用などの倫理性が問題となる場合には、可能な限り事前に倫理委員会などの承認を得、その旨を明記して下さい。ヘルシンキ宣言を参照して下さい。また寄稿される論文の内容に関して、利益相反がある場合には明記して下さい。特に研究に関して資金提供、雇用関係などによる利益相反がある場合には関係した営利目的の企業・団体名を明記してください。

例) 利益相反: なし
利益相反: あり。本研究に関する費用は〇〇〇(企業名・団体名)が(一部)負担した。
- 5) 他誌に掲載されたもの、投稿中のもの、自らあるいは第三者のホームページに収載または収載予定のものは、二重投稿と見なし、受け付けません。投稿にあたっては、著作権譲渡同意書に著者全員が署名の上、原稿に添付して下さい。
- 6) **他著作物からの引用、転載**については、出典を明記するとともに、著作権保護のため、原出版社および原著者の許諾が必要です。あらかじめ許諾を得て下さい。許諾願いの参考フォーマットを弊社ホームページに収載していますのでご参照下さい(<http://www.igaku-shoin.co.jp>)。
- 7) 文献は本文中に引用されたもののみ(文献は必要不可欠なものに限定し、400字当たり1文献以内の引用を目安として下さい)を挙げ、次のように書いて下さい。
 - a. 記載順は著者名のアルファベット順とし、同一著者の場合は、発表順にして下さい。
 - b. 欧文雑誌名の省略は Index Medicus に従い、和文雑誌は公式の略称を用いて下さい。
 - c. 著者名は、3名以下の場合は全員、4名以上の場合は、3人目までは全員書き、4人目から et al (または他) として下さい。
 - d. 文献の書き方は、雑誌の場合は著者氏名: 論文題名、雑誌名(類似の誌名のあるときは発行地) 巻: 頁、西

暦年号の順に、単行本は、著者名・書名・発行所名、発行地(国内は不要)、頁、発行年次あるいは著者名・論文題名、編集者名、書名・発行所名、発行地、頁、発行年次

例 1) 木村敏：現象学的精神病理学と“主体の死”―内因の概念をめぐる、精神医学 30 : 381-388, 1988

2) Vaillant GE : Theoretical hierarchy of adaptive ego mechanisms. Arch Gen Psychiatry 24 : 107-118, 1971

3) Wehr TA, Goodwin FK : Biological rhythms and psychiatry. In : Arieti S, Brodie HKH, ed. American Handbook of Psychiatry. Basic Books, New York, pp46-74, 1981

8) 掲載論文の別刷は 30 部まで無料贈呈します。それ以上は希望部数(50 部単位)により実費をいただきます。

9) 原稿は ㊞ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 医学書院「精神医学」編集室宛にお送り下さい。論文の採択は、編集委員会の決定によって行い、多少の字句の訂正をいたすこともありますので、ご諒承下さい。

10) 原稿には必ず同内容のコピー 1 通を添えてお送り下さい。なお、掲載済みの原稿は返却いたしません。

付 1) 1980 年より本誌では国際登録誌名(Key-Title)として表紙右上隅に Seishin Igaku を表示していますが、これは今後世界の主要な医学雑誌論文索引誌で正式な本誌の文献表示として使用されます。今後外国雑誌への投稿に際しては、本誌の引用文献・参考文献表示は Seishin Igaku あるいは Seishin Igaku (Clinical Psychiatry) とされるようご留意下さい。

付 2) 本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は医学書院に譲渡されたものとします。著作者ご自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用される場合には事前に弊社あてにご一報下さい。(2013 年 1 月改訂)

編集同人

阿部 和彦	秋山 一文	天野 直二	青木 省三	新井 平伊	浅井 昌弘	千葉 茂
福居 顯二	福島 裕	古川 壽亮	濱中 淑彦	花田 雅憲	長谷川和夫	林 拓二
樋口 輝彦	平安 良雄	広瀬 徹也	菱川 泰夫	人見 一彦	堀口 淳	保崎 秀夫
細川 清	一ノ渡尚道	池田 学	生田 琢己	井上 令一	伊崎 公德	石田 康
石郷岡 純	石黒 健夫	石野 博志	岩崎 徹也	岩田 仲生	伊豫 雅臣	地引 逸亀
上島 国利	神庭 重信	兼子 直	兼本 浩祐	笠原 嘉	鹿島 晴雄	加藤 邦夫
加藤 進昌	加藤 敏	川崎 康弘	風祭 元	木下 利彦	切池 信夫	岸本 年史
古賀 良彦	小出 浩之	小池 清廉	近藤 毅	小阪 憲司	小島 卓也	越野 好文
小山 司	倉知 正佳	町山 幸輝	前田 久雄	前田 潔	松永 寿人	松下 正明
三村 将	三邊 義雄	三浦 貞則	宮川 太平	三山 吉夫	宮岡 等	三好 功峰
水野 雅文	森 則夫	守田 嘉男	本橋 伸高	村井 俊哉	中井 久夫	中嶋 照夫
中村 純	中村 祐	中根 允文	中山 和彦	南光進一郎	西川 徹	西村 良二
西村 健	丹羽 真一	野上 芳美	野村 純一	野村總一郎	小椋 力	岡田 元宏
大川 匡子	岡崎 祐士	大久保善朗	大森 哲郎	太田 龍朗	大谷 浩一	尾崎 紀夫
小澤 寛樹	齋藤 利和	酒井 明夫	佐野 輝	佐藤 光源	清水 宗夫	清水 徹男
下田 和孝	篠崎 和弘	白石 博康	白川 治	染矢 俊幸	洲脇 寛	鈴木 二郎
鈴木 道雄	高橋 三郎	高畑 直彦	高柳 功	武田 雅俊	武正 建一	田代 信維
寺尾 岳	融 道男	豊嶋 良一	内村 英幸	内村 直尚	内富 庸介	内山 真
上野 修一	牛島 定信	和田 有司	若林慎一郎	渡辺 義文	山田 通夫	山田 尚登
山田 茂人	山口 登	山下 格	山内 惟光	山内 俊雄	山脇 成人	山崎 晃資
米田 博	吉益 文夫	吉松 和哉(ABC 順)				